

# 図書館へ行こう！

**晴耕雨読**(晴れた日は外に出て耕し、雨の日は家にいて書を読むこと。田園に閑居する自適の生活にいう。『広辞苑』岩波書店)

もうすぐ梅雨入り。「晴耕雨読」の言葉が使われる季節になりました。この四字熟語は中国古来の書物には記述がなく、日本独自の言葉であると言われていました。人生において十代は、種をまき芽を出す季節です。たくさんの本に出あって心のひだを耕し、たくさんの栄養を吸収してほしいと思います。

\*\*\*\*\*

## 先生方おすすめの本 1冊

学院の先生方から「学院生に読んでほしい1冊」「青春時代に読んだ思い出の1冊」について紹介していただく連載企画「先生方おすすめの本」が今号から始まります。日頃お世話になっている先生方が皆さんに勧めてくださる1冊…とても楽しみです。

### Vol.1 瀨崎 敦 校長先生のおすすめ 養老孟司著『バカの壁』

高校1年生のオリエンテーション・キャンプで今年度の学校目標「耳を傾け共に歩む生き方を深めよう！」の説明をしている時、ふと思い出し紹介したものです。著者は私たちがいかに“当たり前”、“もうわかっている、知っている”という思い込みを持ち、考えないで自分の周囲に壁を作っていることかと問いかけます。その壁を“バカの壁”だと。読みやすいので一度読んでみてはいかがでしょうか。自分にある一つの“バカの壁”を崩すためにも。

「おすすめ」で紹介された本は、すべて図書館で貸出しできます。ご利用ください。

\*\*\*\*\*



### 雑誌のご紹介 本や活字に関するありとあらゆる話題を詰め込んだ月刊情報誌、その名も『本の雑誌』は、「本とその

周辺で遊びたい」人が集う読者参加型の井戸端会議の雑誌です。独断と偏見で選ぶ新刊ガイドから、タイトル、装丁、帯コピーなど役に立たない(?)けどちょっぴり知りたい「本」の周辺情報を提供する、いわば本のエンターテインメントマガジン。一度手にとってみてください。



ユニークなサブタイトルも必見で、今月号は「手長エビ混線号」です。ちなみにバックナンバーには「柏もちてんてこ舞い号」「春眠こむらがえり号」「どンドン焼き回転号」「コタツ読書居留守号」…なんていうのも。見つけてみてね。



6月号の特集は“本を動かす” 本は人の心は動かせるが、自力じゃどこにも動けない。だから人が動かすのだ!! 愛書家の正しい引越し法、一日二百万冊が移動する取次物流センターの現状や、本の積み方検証、そして本を運ぶもの図鑑まで、本を動かす実態に迫る特集です。



日	月	火	水	木	金	土
5/20 休	21	22	23	24	25 休館日	26 休
27 休	28	29	30	31	6/1	2 休館日
3 休	4	5	6	7	8	9 休



今年初めての定期テストが終わり、大会を控えた部活動などに忙しい時期となりました。ちょっとしたひとときに読書で気持ちを鎮めて、充実した毎日を過ごしましょう。